

第3回 高2トップレベル記述模試 優秀答案

一

問二

論じることは、戦争とは正反対の平和の中で行われることであるのに、戦争に触れているような錯覚に陥らせるからためらわれる。

問三

戦争に呑み込まれた人は、ただ茫然とするか恐怖の叫びを上げるしかないという点で、心を奪われている状態である恍惚に似ている。

二

問三

学校から逃げ出して、家の倉庫に隠れていたので、父親にみつかると怒られると思い、恐く、緊張したから。

問六

何らかの理由で落ち込んでいる珠美は、父の愛情を思い出すにつれて、徹平の持つ父に似た包よう力のある愛に気付き、それに身をゆだねたいと思った。

三

問七

ようやく姉が求めていた本が見つかったのに、姉はもう死んでしまったこと。

四

問四

あなたが百姓がうえていていまにも死にそうであることを皇帝にいつとめて伝えてほしい。